

令和2年度包括外部監査結果・意見等に対する是正措置
(令和5年度における対応状況)

番号	項目	監査の結果及び意見 (Pは令和2年度包括外部監査結果報告書のページ)	措置の内容
1	Ⅲ. 今回の監査結果 第2章. 宮城県宮城野原公園総合運動場 1. 仙台市陸上競技場との管理区分について 【意見】	本複合施設を構成する5施設(宮城球場、仙台市陸上競技場、ウォーミングアップ場、宮城相撲場、宮城テニスコート)のうち、4施設は宮城県の所有であるが、仙台市陸上競技場のみが仙台市の所有となっている。しかし、各施設については一括して、一の指定管理者が選定されている(倶楽天野球団が管理する宮城球場を除く)。 この点、指定管理者は4施設の管理において、宮城県所有分と仙台市所有分に分けて別個に管理状況報告等の事務手続や区分経理を行わざるを得なくなっており、全体としては効率的と言えない状況となっている。県は仙台市とも共同のうえ、施設すべての仙台市への譲渡等も含めた各施設の効率的な管理に資する管理形態を勘案することが望まれる。 (P34)	仙台市にヒアリングを実施し、宮城野原公園の県有施設について譲り受けの意向がないことが確認されたことから、施設の譲渡による効率化は現時点では困難である。 なお、指定管理者にヒアリングしたところ、県の指定管理業務様式が任意様式が多いことや仙台市と様式が異なっているものがあることが確認されたため、県指定様式として整理するとともに、様式の統一化を図った。
2	Ⅲ. 今回の監査結果 第6章. 宮城県長沼ボート場(アイエス総合ボートランド) 1. ガソリン貯蔵庫の必要性 【指摘】	モーターボートの燃料であるガソリンの保管状況を視察したところ、ガソリンタンクが艇庫の端奥に、カラーコーンやボートの備品と並列されている状態であった。担当者の話によると、消防法に定められているとおり、艇庫内で保管するガソリンを200リットル未満にしているとのことであるが、タンクは約20個保管されており、タンク内のガソリンの量によっては合計200リットルを超えてしまうことから、消防法違反の可能性もある。また、艇庫内には、他の備品やゴミ袋などがあることから、万が一、ガソリンに引火した場合、被害が拡大するおそれもある。 指定管理者は、県にガソリン貯蔵庫設置の要望を出しているが、県側は、ガソリンをその都度購入するようにとの反応であったという。ガソリン貯蔵庫がないことによる危険性や不便さに対する、県の認識について疑問が生じる。 利用者と職員、さらには近隣住民の安全確保のために、ガソリン用の貯蔵庫の設置は必須である。県は、ガソリン貯蔵庫の設置を早急に検討すべきである。 (P115)	令和5年11月に少量危険物保管庫を設置し、11月14日から供用開始済み。
3	Ⅲ. 今回の監査結果 第6章. 宮城県長沼ボート場(アイエス総合ボートランド) 2. 屋外ボート競技場のトイレ設置 【意見】	長沼ボート場内で一般的な水洗トイレが設置されているのは、管理事務所内のみであり、屋外のボート競技場には仮設トイレのみが設置されている。ボート競技の参加者は高校生等の若い選手たちであり和式トイレが苦手ということで、数年前に指定管理者は、管理事務所内の和式トイレを洋式トイレへと改装したが、仮設トイレについては、現状も和式のままである。本来ならば仮設トイレを廃止し、新たに簡易水洗トイレを増やすことが理想的であるが、河川敷は水洗トイレの設置が困難であり、また、屋外の別の場所や艇庫内に設置するとなると浄化槽の問題が絡んでくる。 選手や観客が快適に施設を利用するためには、清潔な水洗トイレが整備されていることが最低条件である。利用者満足度を上げるためにも、まずは仮設の和式トイレを洋式トイレに替えるように県は予算を組み、利用者の不便を少しでも解消すべきであろう。 (P117)	令和5年8月に洋式仮設トイレ(4台)を設置し、利用者の利便の向上を図った。
4	Ⅲ. 今回の監査結果 第6章. 宮城県長沼ボート場(アイエス総合ボートランド) 6. 利用促進への取り組み 【意見】	宮城県長沼ボート場の利用者の大部分は団体であり、個人利用が少ない。未経験者でもボート場の利用は可能であるが、安全を保つことができる人に限られてしまうため、利用者が特定されてしまうのが現状である。さらに今年度は、新型コロナウイルスの影響で、利用者がさらに減少した。 しかし、指定管理者側は、今後も、ボート関係者、ボート関係者以外への施設のアピールを続け、イベントを積極的に実施し、利用の啓発を図る意向である。 指定管理者のホームページの閲覧者はボート関係者に限られてしまう可能性があるため、多くの県民が目にする県のホームページに、施設概要のみならず、積極的に長沼ボート場の長所のアピールや、今後のイベント情報等を配信していくことで、長沼ボート場の存在価値を県内外に広める効果につながると考える。 (P120)	県ホームページから、宮城県ボート協会及びとめ漕艇協会などのホームページにリンクすることで、長沼ボート場及びその周辺施設におけるイベント情報などにアクセスしやすいよう改善した。 また、一般の方も参加できる大会や乗艇会などが、長沼ボート場で開催されていることを県ホームページ内で情報発信し、県内外への長沼ボート場の魅力発信に努めた。